

# 議会日誌

## 10月

- 18日 第7回複合庁舎建設等調査特別委員会
- 19日 北網ブロック町議会議員研修会(訓子府町)
- 22日 東京つべつ会総会(東京都)
- 27日 第2回決算審査特別委員会
- 30日 北網ブロック市・町議会正副議長会議(小清水町)
- 31日 オホーツク町村議会議長会臨時総会(札幌市)

## 11月

- 1日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望(札幌市)
- 6日 第7回総務文教常任委員会  
第6回産業福祉常任委員会
- 9日 増毛町議会産業厚生常任委員会行政視察来町
- 10日 議会報告会(津別町)  
第8回複合庁舎建設等調査特別委員会
- 12~14日 オホーツク圏活性化期成会石北本線部会視察(青森県)
- 22日 町村議会議長全国大会(東京都)
- 24日 第8回議会運営委員会
- 27日 第7回津別町議会臨時会  
第3回全員協議会  
第5回議会広報特別委員会

## 12月

- 4日 オホーツク圏活性化期成会JR問題に係る意見交換会・合同石北本線部会
- 5日 第8回総務文教常任委員会
- 6日 第7回産業福祉常任委員会
- 14日 第9回議会運営委員会
- 20~21日 第8回津別町議会定例会

## 1月

- 18日 第6回議会広報特別委員会

# 意見書

関係行政庁へ  
提出しました

## ■平成30年度畜産物価格決定等に関する意見書【要旨】

北海道の酪農・畜産は、気象・地理的に不利な条件を克服しながら、専業経営を主体に発展し、豊富な飼料基盤を維持しながら、国民への安全で良質な牛乳・乳製品及び畜肉の安定供給という重要な使命を担っている。

加えて、酪農・畜産は、北海道農業の基幹部門として、乳業や食肉加工業など幅広い関連産業を通じて地域の雇用や経済を支えるとともに、農村社会の活力を維持するなど、極めて重要な役割を果たしている。

しかし、北海道酪農といえども、止まらない飼養農家戸数の減少と乳用牛頭数の減少という厳しい現実と直面しており、生乳生産量も伸び悩んでいる。

さらに、広大な北海道の酪農地帯においては、単なる生乳生産のためではなく、地域コミュニティを維持するため、中小規模の酪農経営をいかにして次世代に繋いでいくかが重要な課題となっており、農村政策の視点を取り入れた生産基盤強化対策の推進が求められている。

また、TPP協定や日EU・EPA大枠合意などによって、我が国の牛肉・豚肉や乳製品の分野では、これまで経験したことのない高い水準の市場開放が行われようとしている。このため、次世代を担う後継者をはじめ多くの酪農・畜産農家は将来不安を強めている。未来を切り拓く生産現場に寄り添った酪農・畜産政策の推進、意欲と展望の持てる畜産物価格等の実現などに努められるよう強く要望する。

## ■平成29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める意見書

## ■持続可能なオホーツク畑作政策と「ばれいしょ増産輪作推進事業」の万全の予算確保などを求める意見書

# は ぐ る ま

10月28日、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」町民説明会に始まり、「まちづくり懇談会」は11月2日から12月5日まで、17会場各自治会で開催され、多くの会場で声を聞きました。

相生では空き家・ゴミの問題など、活波では移動の足・防災組織の問題などが地域の課題であることなので、今後の活動に生かさればと思います。

また「複合庁舎建設」と同じく多く出された意見に、「消防庁舎」の建て替えを急ぐ声がありました。

公共施設の耐震化が問われている今、「消防庁舎」は昭和47年、私の生まれる前年建設で45年を超えました。

「消防庁舎」は、車庫やシャッターが地震で破損し、開けられず、緊急車両が出勤できない時点で、既に「機能停止状態」と言えます。

耐震検査の結果を待つ間にも、津別町の地域防災を考えた機能や連携、その条件に叶う場所、消防関係者と行政の英知が実を結ぶ事を期待し、応援したいと思えます。  
(渡邊)

# 歯 車